

TRL (Technology Readiness Level : 技術成熟度)

別紙10

- TRLとは、NASA（アメリカ航空宇宙局）によって作られた、**特定の技術の成熟度レベルを9段階で評価する指標**。
- 本事業と同様に研究開発を進める「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」や「中小企業イノベーション創出推進事業（フェーズ3基金事業）」においても、TRLを活用して公募・評価を実施。
- 本事業においても、TRLに基づき、**事業開始時及び事業終了時に求める技術の成熟度の目安を明確化**。

TRL	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	基礎原理の観察・報告	技術コンセプトの策定	ラボ環境		テストフィールド環境		実運用環境		
			実験的な概念実証	技術実証	技術実証	システム試作・実証	システム試作・実証	システム完成・試験	実証・商用化
(1) 民間型			(事業開始時の技術成熟度)					(事業終了時の技術成熟度)	
(2) ニーズ即応型									
(3) 技術改良									
(4) 先行的研究									

(TRLに基づいた公募・評価を行っている事業例)

- ・フェーズ3基金：公募対象をTRL5（使用環境に応じた条件での技術検証）以上に設定、
事業終了時にはTRL7（実運転条件下でのプロトタイプシステム実証）の完了を目指としている
(公募要領に記載されている例)『2025年度中に試作機の開発（TRL5）完了・2026年度中に実際の作業環境での現地実証（TRL6）完了・2027年度中に多様な営農環境下での現地実証現地実証完了（TRL7）』等
- ・SIP（第3期）：各研究課題の達成目標をTRLで予め設定し、公募要領に記載
例：『2027年度末（第3期SIP終了時点）大豆等のゲノム情報と表現型情報等とを統合的に解析する育種プラットフォームの構築【TRL6】』等